

### 【短報】洞窟内から採集されたカネコメツキ2種

Vandel (1965) は、洞窟生物学の教科書的な書籍“Biospeleology”の中で第13章を甲虫にあて、洞窟内で見つかる甲虫についてページを費やしている。また上野 (1986) も洞窟内で見つかる甲虫についてまとめている。ただし、これらの中にコメツキムシ科についての言及はない。今日では、コメツキムシ科の一部には、真正の洞窟性種ではないものの、洞窟内で採集される種があることが知られている。

オガタカネコメツキ *Limoniscus ogatai* (Kishii, 1985) は、佐賀県の多良岳で得られた個体をもとに記載されたが、副模式標本には熊本県の洞窟内から採集された標本が含まれている。大平 (1992, 1999) は、同じく洞窟内から得られた本種の雌個体の形態を記載し、鹿児島県の洞窟内からも幼虫とともに記録している。

また、フタキボシカネコメツキ *Limoniscus kraatzi nihonicus* (Kishii, 1966) のように、野外で見つかるのが普通でありながら、洞窟内で見つかる例もある。矢野 (2001) は洞窟内で本種の多くの個体が見つかり、世代を重ねていると推測される事例を報告している。

筆者の手もとにも、洞窟内で採集されたカネコメツキ *Limoniscus* 属の標本があるので報告する。

#### 1. ハネアカカネコメツキ *Limoniscus rufipennis* (Lewis, 1894) (図1)

1♂, 愛媛県上浮穴郡美川村黒岩洞, 3. V. 2004, 筆者採集, 保管。

洞窟内の比較的深部から採集した。漆黒の闇の中を50 m ほど進んで、乾いた石に静止した本種をヘッドライトの明かりで捉えたときには、驚きのあまり声もれるのを禁じ得なかった。

#### 2. カタモンカネコメツキ *Limoniscus rufovittatus* (Ôhira, 1963) (図2)

1♂, 東京都あきる野市養沢三ツ合鍾乳洞, 1. III. 2008, 早川定範採集, 筆者保管。

洞窟内の比較的入り口に近い部分で見つかった。時期的に、外は成虫の活動期としては早く、越冬のために洞窟内にいた可能性もある。ただし、採集時には活動的だった。

このように、*Limoniscus* 属にみられる洞窟内での複数の採集例は、本属の幼虫期を含めた生態的な特性によることを強く示唆していると考えられる。だが、残念なことに詳細は不明である。オガ



図1. ハネアカカネコメツキ. 図2. カタモンカネコメツキ.

タカネコメツキの幼虫がゴウモリのグアノ周辺で得られるという情報もある (大平, 1999)。大平ら (2008) によれば、本属の幼虫期の食性はあまりよくわかっていないようだが、少なくとも一部の種については「地中性」「捕食性」「グアノ動物 (ゴウモリ・グアノへの依存)」といった言葉がキーワードになる可能性があると思われる。

末筆ながら、四国、東京の調査時同行され、貴重な標本を託された早川定範氏 (宮城県)、文献入手のために手を貸してくださった鈴木互氏 (東京都) に深謝したい。

#### 引用文献

- Kishii, T., 1985. Some new forms of Elateridae in Japan (XVII). *Bulletin of the Heian High School*, 29: 1-30.
- 大平仁夫, 1992. 九州に産するコメツキムシ科の珍種 (39). *北九州の昆蟲*, 39 (2): 81-82, pl. 1.
- 大平仁夫, 1999. 九州産コメツキムシ雑記. *北九州の昆蟲*, 46 (2): 125-128, pl. 1.
- 大平仁夫・白石正人, 2008. フタキボシカネコメツキ上翅黄橙色斑の変異. *月刊むし*, (444): 36-37.
- Ôhira, H., 1963. New or little-known Elateridae from Japan, VI (Coleoptera). *Transactions of the Shikoku Entomological Society*, 8 (1): 15-18.
- 上野俊一, 1986. 特殊環境と生活, pp. 113-121. 森本桂・林長閑編, 原色日本甲虫図鑑 (1), 保育社, 大阪.
- Vandel, A., 1965. Capter XIII, The Coleoptera. *Biospeleology*, 194-219. Pergamon Press, Paris.
- 矢野立志, 2001. 洞窟内で繁殖した2種の甲虫. *広島虫の会会報*, (40): 64.

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町32-17)